

【質問1】小学校・公募外異動教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町村名	職層	性別	年齢	【質問】 赴任する前、島しょに対して、どのようなイメージを持っていましたか。	【質問】 実際に赴任して、そのイメージは変わりましたか。
大島町	教諭	男	30代	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の負担、責任は大きいだろうということ。 児童、家庭、地域との距離が近いだろうということ。 たくさんお酒を飲むのだろうということ。 子供が素直だろうということ。 急に思い立ってもいろいろなものが手に入らないだろうということ。 	<p>(お酒について) そうでもありませんでした。</p> <p>(いろいろなものが手に入らないことについて) アマゾンがある。</p>
大島町	教諭	女	20代	<p>「不便」というイメージは大きかったです。大島だったこともあり、赴任前に下見に来た段階で、日用品や生鮮品のそろうスーパーや文具店などがあることを知ったので、予想以上に不便さは少ないと思いました。</p>	<p>インターネットでの通信販売等も日常的に利用することのできる現在、生活上、困ることはほとんどないと感じます。ただ、天候の悪いときに離島するすべがなくなることや、内地での短時間の用事を済ませるために宿泊しなければならないことの不便さは、こちらで生活する中で、初めて実感しました。</p>
大島町	教諭	女	20代	<p>島しょに対してのイメージより、なぜ島しょ地域への異動になったのかということばかり考えていた。動揺しながらも、住宅や車、一人暮らしのことなど生活面を考えていかなければならなかったので、インターネットで大島のことをたくさん調べた。火山や津波、土砂災害などの自然災害がとても恐ろしいなというイメージだった。自然災害のことはかなり警戒していたが、島の子どもや、それ以外の環境については、特にイメージはしていなかった。</p>	<p>実際に赴任して、イメージは悪くなっていない。むしろ、イメージは良くなった。</p>
利島村	主幹	男	30代	<ul style="list-style-type: none"> 自然豊かな中で教育活動が実践できる。 	<p>赴任後、島の歴史や文化を十分理解しなければならないと強く感じた。</p>
新島村	教諭	男	30代	<ul style="list-style-type: none"> 地域との関りが深い。 お酒をたくさん飲むだろう。 	<p>お酒について断ることもでき、そうでもなかった。</p>
神津島村	教諭	女	20代	<ul style="list-style-type: none"> 不便 研修に思うように参加できない。 知り合いが全くいないことへの不安 同じ校種の音楽専科(同じ立場)の方が少ない。 自然豊か 人と人との絆が深い。 	<p>大体思っていた通りであるが、美しい自然へのイメージは、想像以上であった。</p>